

新型コロナワクチンについて（乳幼児）

ワクチン接種を受ける前に

- 1 このワクチンは新型コロナ（SARS-CoV-2）による感染症（COVID-19）の予防・重症化を防ぐことを目的としております。

これまでの報告では、オミクロン株 BA.2 に対するワクチンによる発症予防効果は、生後 6 ヶ月～2 歳で 75.8%、2～4 歳では 71.8%とされています。また接種後の中和抗体の上昇は、15～25 歳の群に比し劣勢ではないとされています。

ワクチンは個人と社会を守ります。小児が感染した場合、重症化するリスクは極めて少ないものの、小児の兄弟・両親・祖父母の社会生活にも影響を及ぼします。またオミクロン株流行後の小児死亡例が 41 例あり、基礎疾患をもっている小児が感染しない、させないためにも、乳幼児に新型コロナワクチン接種を行う意義はあると思われます。

- 2 乳幼児（生後 6 ヶ月以上 4 歳以下）のワクチンはファイザー社製オリジナル株で、分量は成人の 1/10、小児の 3/10 です。接種部位は、生後 6 ヶ月～1 歳未満は外側広筋（太もも中央外側の筋肉）に、3 歳以上は上腕の三角筋（肩より少し下の筋肉）の中央部に接種します。1 歳～2 歳は上記どちらかの筋肉に接種します。

ワクチン接種を受けた後に

- 1 ワクチン接種後 15 分はクリニック内あるいはクリニック近辺に待機して下さい。各自スマホなどでタイマーを 15 分設定し、15 分経過してから帰宅をお願いします。
- 2 ワクチン接種を受けた日は激しい運動や遊びは避けて下さい。入浴・シャワーは行って構いません。
- 3 ワクチン接種後に見られる副反応
治験で観察された有害事象は軽度から中等度です。生後 6 ヶ月～2 歳では、接種部位局所反応は 18～19%、発熱は 14～18%、3～4 歳では、接種部位局所反応は 26～28%、発熱は 10～12%でした。これらは接種 2 日以内に発症しますが、ほとんどが軽症で数日以内に軽快します。
- 4 接種後気になることがありましたら受診して下さい。